

(1)東京都の結核患者の推移

かつて国民病といわれ、我が国の死因で最も多くを占めていた時代があった結核患者は、関係者のたゆまぬ努力により、2000年代に入った後も減少し続け、2022年には東京都における人口10万人当たりの結核罹患率は8.5となり、低まん延国の目安である10未満を達成した。
 しかしながら、欧米の多くの先進国が経験したような罹患率の逆転上昇を起こすことが無いように引き続き適切な対策を実行すると共に、結核前根絶に向け地域特性を考慮した対策が必要となってきた。

(2)低まん延化後における結核啓発

結核患者の総数は減少傾向ではあるが、高齢者や外国人の全体に占める割合は増加傾向であり、外国出生結核患者においては、出身国も多様化している。
 したがって、これまで行ってきた普及啓発の継続のみならず、SNSの活用や、高齢者施設や外国人労働者の管理団体等に対しても正しい知識の普及啓発についても積極的に行っていく。

(3)令和5年度の人材育成の取り組み（結核予防講演会）

No	開催日時	対象者	テーマ	内容	講師	参加者数など	会場
1 ★	7月10日(月) 14:00～16:30	保健所職員	結核対策に活かすコホート検討会のポイント!	○服薬支援、コホート検討会 ・服薬支援のポイント ・コホート検討の必要性	結核研究所 保健対策部 永田容子	定員:30名 申し込み者:37名 参加者36名 参加者内訳:職種(保健師:36名) 結核業務経験年数(1年未満11名、1～2年14名、2年以上11名)	お茶の水トリエッジカンファレンス11F貸会議室
2	8月3日(木) 14:00～15:30	小中学校職員向け	学校における結核対策	○結核の基礎知識 ○発生時対応 ○保健所との連携について(事例)	東京都健康安全研究センター 企画調整部 健康危機管理情報課 疫学情報担当課長 村田ゆかり 多摩立川保健所保健対策課 感染症対策担当 熊倉恵美	定員:250名 申し込み者:106名 参加者77名 参加者内訳:職種(養護教諭33名、医師1名、保健師32名、診療放射線技師1名、研究員1名、事務1名、不明0名) 所属(小学校11名、中学校9名、中学・高等学校13名、教育委員会2名、保健所40名、結核研究所1名、不明1名)	オンライン
3 ★	9月8日(金) 18:30～20:00	都内全医療機関職員(薬局、クリニック含む)	結核の早期診断と適切な治療を目指して～結核対策と治療の基礎知識～	○保健所の結核対策について ○早期診断、治療について	東京慈恵会医科大学第三病院 感染制御部診療部長/呼吸器内科診療医長 竹田宏 防疫課 感染症調整担当 課長代理 中島丈晴	定員250名 申し込み者:240名 参加者127名 参加者内訳:職種(医師35名、看護師28名、保健師27名、薬剤師31名、臨床検査技師5名、診療放射線技師1名) 所属(医療機関74名、保健所等31名、薬局21名、結核研究所1名)	オンライン
4	9月19日(火) 13:30～16:00	保健所職員	事例から考える接触者健診	○接触者健診 ・接触者健診の基礎 ・模擬事例でのグループワーク	結核研究所 対策支援部長 太田正樹	定員:25名 申し込み者:33名 参加者30名 参加者内訳:職種(保健師:30名) 結核業務経験年数(1年19名、2年8名、3年1名、不明1名)	健安研
5 ★	10月26日(木) 14:00～16:30	保健所職員	グローバル化時代の結核対策～生活者としての外国出生結核患者の支援～	○外国出生結核患者支援	神奈川県労働者医療生活協同組合 港町診療所所長 沢田貴志 防疫課 感染症対策調整担当 課長代理 徳野愛	定員30名 申し込み者:33名 参加者30名 参加者内訳:職種(保健師:29名 事務職:1名) 結核業務経験年数(1年未満19名、1～2年5名、3～4年4名、5年以上2名)	保健医療局研修センター
6	11月29日(月) 14:00～15:50	技能実習生受け入れ先/保健所職員	外国人技能実習生が結核になったときに慌てずに対応するために～外国人技能実習生管理団体等における結核対策と外国出生患者への支援～	○「外国出生患者への支援」 ・結核の基礎知識 ・平常時・発生時の対応 ・外国出生者結核患者の療養支援制度について ・支援について	結核研究所 対策支援部 保健看護学科 科長 座間智子 足立保健所 感染症対策課 防疫係 保健師 長塚景子	申し込み者:ライブ配信89名 データ配信27名 ライブ配信参加者67名 参加者内訳:職種(保健師:24名、看護師2名、診療放射線技師1名、医療通訳・通訳4名、事務7名、監査担当1名、不明27名) 結核業務経験年数(1年未満19名、1～2年5名、3～4年4名、5年以上2名)	オンライン
7	1月30日(火) 14:00～16:00	高齢者福祉施設関係者 高齢者地域関係者	高齢者施設における結核対策～もし入所者や利用者及び職員が結核と診断されたら～	○「高齢者の結核対策」 ・結核の基礎知識 ・平常時・発生時の対応 ・施設で結核患者が発生した際の対応(事例編)	東京都立多摩北部医療センター 呼吸器内科 臨床顧問 藤田明 文京保健所 予防対策課 保健指導係 田中利奈	実施報告未 (現時点で申し込みは189名、データ配信63名、実際の参加は132名)	オンライン
8	2月27日(火) 14:00～15:35	保健所職員	結核の分子疫学調査～VNTR法検査結果を結核対策に活かそう～	○分子疫学 ・分子疫学調査の意義と活用	結核研究所 抗酸菌部 結核菌情報科 科長 村瀬良朗 東京都健康安全研究センター 企画調整部 健康危機管理情報課 疫学情報担当	実施報告未 (定員30名で申し込み31名)	健安研

★は結核担当主催

※その他、DOTS支援員新規登録・更新のための研修と、外国人結核患者等服薬治療支援員（医療通訳）のフォローアップ研修については毎年行っている。

重点対象者における結核対策強化健診事業



住所不定者向け <年2回>
9月4日(月)、2月5日(月)
城北労働・福祉センター
受検者34名、要精検4名



生活困窮者向け
7月31日(月)
東京都健康プラザハイジア前
受検者17名、要精検1名



外国人向け (健康相談同時開催、
ミャンマー語の通訳、ボランティア
の参加あり)
1月28日(日)
戸山サンライズ
受検者35名、要精検1名



若者 (外国人) 向け
9月23日(土)
秋葉原UDX サボニウス広場
受検者31名、要精検0名

動画・冊子等 (結核担当ホームページ掲載中)



外国出生者向け動画



都民向けリーフレット

高齢者向けポスター



外国語版リーフレット



各種イベント等

結核予防週間 (9月24日から9月30日まで)

厚生労働省は上記期間を「結核予防週間」と定めて、結核に関する正しい知識の普及啓発を図ることにしている。東京都でもライトアップや秋原UDXでの若年向けの無料結核健診、都内各所でのポスター掲示などを行っている。

世界結核デー (3月24日)

ドイツのロベルト・コッホ博士が、結核菌の発見を発表した日にちなみ、WHOが、毎年3月24日は「世界結核デー」と制定しました。3月16日～3月21日は世界結核デーにちなんで都庁第一本庁舎1階アートワーク台座にて結核に関するパネル展を実施します。3月19日(火)は世界結核デー記念行事講演会として「結核と新型コロナウイルス感染症」～新型コロナウイルス感染症パンデミックを契機に感染症について考えよう～を開催します。講師：結核予防会理事長 尾身茂先生 会場：桜美林大学新宿キャンパス創新館本館3階 センテナリオホール

結核予防週間の時期に開催!



墨田川に架かる橋と臨海副都心各施設等をライトアップ (写真：駒形橋)

都庁第一本庁舎を世界共通の結核予防運動シンボルカラー赤色にライトアップ

